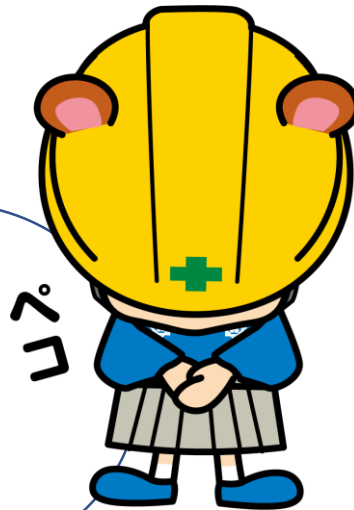


建設バスに参加した安芸桜ヶ丘高校の皆さんから感想文をいただきましたので、いくつかご紹介いたします。安芸桜ヶ丘高校の皆さん、ありがとうございます。





今回の現場見学会に行き、学校の教室に座って授業を受けるだけでは分からない事を見たり聞いたりすることができ、すごく勉強になりましたし、とても楽しい現場見学でした。

高知港海岸湾口地区堤防工事では、南海トラフ巨大地震に備えてできるだけ津波浸水被害を最小限に抑えるために新しい防波堤をつくって国民を守るということですので感動しました。

トンネル工事では、高知県で災害がおこった時の物質を運ぶ道として使うことや、トンネルを作っている時の音が漏れないように防音をしているなど、その地域に住んでいる人に配慮した工事をしていると知り、この工事には、すごく大きな意味があるとわかりました。

自分も将来は建設関係の仕事に就こうと思っているので、自分にも子供ができたなら「この建物はお父さんが造ったんだぞー」と言いたいと思います。

そして、帰りのバスの中で、自分もこんな建設物を造れたらいいなと妄想を広げて楽しんでいました。

今回の現場見学はとても有意義なものでした。



今日は、堤防工事の様子とトンネル工事の様子を見学させて頂きました。どちらの工事もものすごく大きい規模で作業をして、もし自分がその工事にかかわっていたら、完成した時の達成感はすごそうだなと思ったし、そういう仕事に興味を持ちました。

でも、そんなに大きい規模で作業を行うということは、当然現場監督さんのような作業員に指示を出したり、現場を管理する人にはすごく責任もかかるだろうし、大変なんだなあと思いました。

また大きい現場になるほど、その工事に関わる企業や関係者も増えてくるので、たくさんの人と上手く関わっていくコミュニケーション能力も必要だなと思ったし、そういう力を今のうちに付けていきたいと思いました。

今回の現場見学で学んだことは、仕事で人の上に立つ人は作業員が安全に作業できる状況をつくり、効率よく仕事をまわすことが大事で、作業員の人も安全に作業をすることが大事だなと思いました。

自分が将来そういった仕事に就いた時のために、専門的な技術はもちろん、人との関わり方なども今のうちに学んでおきたいと思いました。





今日、高知港海岸湾口地区堤防工事と五台山トンネル工事を現場見学させていただきました。高知港海岸湾口地区堤防工事では、国土交通省から発注された複数の会社がそれぞれ協力して高知県を南海トラフ地震の津波からできるだけ安全に暮せるようにしてくれていて、他の県の方たちが高知のために働いてくれていたのでうれしかったです。

昔の建設業界で3Kというものが、「くさい」「きたない」「きけん」とおっしゃっていましたが、今の3Kは「きれい」「給料が高い」「希望」で大幅にイメージが変わったので建設業に多くの人がきたらいいなと思いました。

五台山トンネル工事では、高知の地質は柔らかい所もあれば、すごく固い所もあるというすごく珍しい地質だと言っていて、柔らかい土は山がくずれる危険があり、1日で6メートルしか進めず、固い土の所は火花が散るほど固く、1日1メートルしか進めないのでトンネル掘るのは大変だなと思いました。

また、トンネル掘るのは大変で危険がともなうので、「けしょう木」というものを山の神様を捧げるということも初めて知りました。

それぞれの会社の方も仕事のやりがいとして半永久的に自分の作ったものが残ると言っていたので、僕もそういう物をつくって、子供や孫に自慢したいなと思いました。

今日の現場見学は僕にとってすごく楽しかったし、刺激になりました。またより一層、建設業に興味をもちました。また現場見学をしたいです。